

認知症作業療法 活動報告 (概要)

沖縄県作業療法士会では**2016**年度より地域社会局介護保険対策部内に認知症班を置き、県士会員、地域包括支援センター職員、関連職団体等を対象とした研修会やイベントを行い、啓発や連携強化に努めている。また、沖縄市の認知症初期集中支援チーム検討委員会や沖縄県地域包括ケアシステム推進会議の中の認知症施策推進部会へも県士会員を派遣している。

RUN伴2018沖縄

RUN伴は**2016**年に沖縄においても初開催されました。**2018**年度は実行委員長を認知症推進委員が担い、県士会を中心に準備を進めました。認知症グループホーム協会と認知症の人と家族の会とも連携を取り運営。**11月25日** (日) エントリー数県内**48**チーム、**247**人(認知症の方**48**人)のランナーがそれぞれに想いを込めたタスキは、県内**12**市町村で受け継がれ、ゴール地である北中城で終了した。



認知症本人ミーティング推進事業

県からの委託事業として「認知症本人ミーティング推進事業」を**2月2日**に南大東村にて実施。認知症当事者が集い、当事者同士が主になって暮らしやすい地域のあり方を語り合う場を作る事を目的として行った。当日は南大東村在住の当事者**26**名が参加し、和やかな雰囲気の中、意見交換や作業活動(アロマテラリウム作り)を行った。後日、聴取した当事者の意見を県庁にて報告した。



認知症の人と家族の会

RUN伴2018の運営から家族会とも繋がり、ミーティングやひまわりカフェ(本人・当事者交流会)へも**1**月より参加。本年度より年**4**回のカフェへもボランティアとして参加し協力している



認知症OTナイトカフェ

【コンセプト】
「カフェのようなくつろいだ雰囲気、楽しく学ぶ」
【目的】

①認知症の人を支援する作業療法に関する知識・技術の研鑽、②認知症に関わる作業療法士の連携促進、を目的に認知症の人に対する作業療法の役割を明確にし、沖縄県民の健康・福祉への貢献につなげていく。今年6月に「辛かった孤立介護を乗り越え」をタイトルに実施。34名の多職種の方の参加があった。



今後の展開

- ・ 認知症の方への評価研修会 (2020年2月開催予定)
- ・ 認知症OTナイトカフェの開催
- ・ 認知症の人と家族の会との連携